

ばばだぼ  
JTサンダーズ広島



久原 大輝

頼れる男、アロン・ラッセル選手がコートに帰ってきた。

11月中旬から約4週間、太ももの肉離れで戦列を離れていた。この間、勝ち星は伸ばせなかったが、井上慎一朗副主将や新井雄大選手



チームを鼓舞するラッセル選手

## ● 帰ってきた頼れる男

がラッセル選手の抜けた穴を埋め、チームに活気を与えた。ラッセル選手も試合前練習で率先してボール拾いをし、ミーティングではチームのために発言。戦う姿を示してくれた。

身体の状態も良くなり、復帰した全日本選手権準々決勝のパナソニック戦では持ち味を全開。豪快なサーブとスパイクで、Vリーグで2連敗を喫したパナソニックから勝利をつかむことができた。

ラッセル選手がコートに立てば、徹底的に対策をされていた江川選手へのマークが分散。必然的に江選手のスパイク決定率も上がってきた。ディフェンス面では、高いブロックで相手にプレッシャーを与え続けている。

ラッセル選手が一番すごい部分は、フォロワーや攻撃への意識などラリー中の動きが格段に良いことだ。バレーボールをやっている子どもたちは、ラリー中に動きをせひまねしてほしいと思う。

(JT広島マネジャー)